

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	広域振興協議会等運営事業		コード	担当課	企画課 企画振興班
			06-01-03-01	担当者	青木弘行
事業実施期間	昭和46年度から		電話	0869-64-1871	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	広域行政			
	施策	施策ごとに友好な広域連携・共同事務処理の推進 広域行政機構の充実・強化			

事業について	
目的	生活圏の拡大に伴い多種多様化する住民のニーズに対応するため、広域的な行政課題の解決や効率的なサービスの提供を行う
対象(誰のために)	主に兵庫・岡山両県境隣接市町村、岡山県南広域圏、苫田ダム水源地域で生活する住民
内容	兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会における国県への要望と負担金の支払い。岡山県南広域市町村振興協議会における第四次岡山県南広域市町村圏計画実施計画の策定と負担金の支払い。空路利用促進会及び苫田ダム水源地域振興事業補助金交付事業の負担金の支払い。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
負担金支払団体数	4 団体		
会議等参加回数	11 回		
国県への要望件数	15 件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	1,190	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等				
	人件費	2,330	受益者負担		人件費		受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	3,520	一般財源等	3,520	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員	0.20		人		人		人				
結果指標①	結果指標名	会議等参加回数									
	結果指標量	11									
	単位	回									
	対前年比	—		0.00%							
結果指標②	結果指標名	国県への要望件数									
	結果指標量	15									
	単位	件									
	対前年比	—		0.00%							
事業費	3,520,000		円	円							
単位当たりコスト①	234,666		円	円							
事業費	3,520,000		円	円							
単位当たりコスト②	234,666		円	円							

事業の成果			
成果指標名	会議等参加回数	式又は説明	年間の各種協議会への参加回数を計測し、協議会の活動状況・存在意義を把握するとともにその有効活用に努める
成果指標量	17年度		
対前年比	11		0.00%
到達目標値	15	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：各職技会設置規約
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	負担金と含めた経費の削減を行うとともに、各協議会による研修会・情報交換会等を有効に活用し、広域行政を推進していく。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	協議会の意義や負担金の見直しを検討	毎年度	負担金の減が図れる
有効性	研修会を充実させ、先進地の事例を取り込む	毎年度	当市の問題対策・課題解決に繋がる

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。